オプトアウト

日本海総合病院で診療を受けられた皆様へ

日本海総合病院では以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本機構倫理審査委員会の承認を得て行うものです。この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名
   心不全マーカーBNP とNT-proBNP との比較検討

2. 研究背景と目的
   脳性ナトリウム利尿ペプチド（BNP）とヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N末端フラグメント（NT-proBNP）は同じBNP 遺伝子に由来するペプチドであり、重要な心不全のバイオマーカーとしてスクリーニングに利用されています。当院ではBNPを測定しておりましたが、分析機の更新にあたりNT-proBNPの測定へと切り替わります。今回の検討ではBNPとNT-proBNPの測定値の差を把握することを目的とします。

3. 研究の実施体制
   研究責任者：検査部 門脇未奈

4. 研究の方法及び期間
   2026年1月～7月までにBNPとNT-proBNPの同時依頼で提出された検体の結果を検査システムや電子カルテの情報から後ろ向きに解析する。
   調査期間：2026年1月1日～2026年7月31日までの情報を調査対象とする
   研究期間：倫理審査委員会承認日～2026年10月31日

5. 研究対象者の選定方針
   2026年1月～7月の期間に当院でBNPとNT-proBNPの同時に検査を実施した方。

6. インフォームド・コンセントを受ける手続等
   「オプトアウト」
   本研究は既に通常業務として患者から聴取している診療情報・薬歴及び検査値情報を用いた後方視的研究なので、オプトアウトについての資料を掲示し、研究参加拒否の

申し出があった被験者のデータは解析から削除し、直ちに破棄する。

7. 個人情報等の取扱い

研究に携わる者は、個人情報の取扱いに関して、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」、「個人情報の保護に関する法律」及び適用される法令、条例等を遵守する。

取り扱う情報には要配慮個人情報が含まれており、情報は紙媒体及び電子媒体で記録される。記録には患者氏名は含まれないが、研究に関する情報の公表においては、個人が特定されることがないように配慮する。また、情報の保管及び廃棄は「10. 試料・情報の保管及び廃棄の方法」に従い厳重に管理する。

8. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

(1) 保存方法・期間

研究のために収集したデータや解析結果は、遮断されたコンピュータの外付けハードディスクで管理する。電子媒体は、研究終了後 5 年間保管する。

(2) 廃棄方法

保存期間終了後すみやかに、研究のために収集したデータや解析結果は破棄する。紙媒体は溶解あるいは細断処理し、電子媒体については再生不可能な状態に処理する。

9. 問い合わせ先

日本海総合病院　検査部　門脇未奈
電話：0234-26-2001(代表)